

東大和市子ども・子育て支援会議 第4回議事録

会 議 名	平成26年度 第4回 東大和市子ども・子育て支援会議
開 催 日 時	平成26年8月29日(金) 14:00～15:50
開 催 場 所	東大和市役所会議棟 第6会議室
委 員	(出席者)佐々木委員、網干委員、伊藤委員、寺山委員、水上委員、上田委員、坂本委員、片野委員、仲里委員、住吉委員 (欠席者)廣澤委員
事 務 局	榎本(子ども生活部長)、高橋(子育て支援課長)、宮鍋(保育課長)、中村(青少年課長)、渡邊(保育課保育・幼稚園係長)、恵良(保育課子ども・子育て支援担当主査)、妹尾(保育課保育・幼稚園係主事)
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議事 (1)子ども・子育て支援事業計画の骨子案について (2)報告事項 ・市民説明会について (3)その他 4. 閉会
配 付 資 料	[事前配付] 資料1 東大和市子ども・子育て支援事業計画(骨子案) [卓上配付] 参考資料 市民意識調査(抜粋)

会議の結果及び主要な発言

事務局 会長	1. 子ども・子育て支援事業計画の骨子案について (資料1を説明) 第4章の施策の展開で、変更となった数字の部分はよろしいか。 (特に意見なし)
委員	では、ここの数字は記載のとおりとする。その他に、意見はないか。 成果指標において、未就学児と就学児の家庭のどちらにも「これから産み育てたいか」と聞いているが、就学児家庭に「産み育てたいか」と聞いても、5年後に数値は上がらないのではないか。そのため、「子育てを続けて行きたいか」といった問いを変えてはどうか。
会長	昨年度行った調査はそのままとし、今回はそのような形を取るようにしたらよい。
副会長	印象だけだとあいまいになってしまうため、今後は進捗状況を文章化し、評価する方法を導入してほしい。事業ごとに注力する部分を示してほしい。
会長	今後、計画の推進にあたり、そうしたことも取り入れて進めてほしい。
事務局	今年2月に実施した市民意識調査において、「今後、東大和市に住み続けたいか」という問いを行った。今後は毎年調査を行っていくため、成果の評価として活用できるのではないかと考えている。
副会長	基本目標の1と2が似通っている。基本目標2の案1を残し、基本目標1で同じような内容を吸収してもよいのではないか。その代わり、ワークライフバランスや男女共同の子育て、親になることを支えることや子育ての楽しさの共有、子育てを中心とした働き方と地域における支

	えなどを入れたらどうか。
委員	基本目標1では案1がよい。また、そこに書かれている文章には、ワークライフバランスも男女共同も書いてあるため、この形でよいのではないか。
委員	「子育て」も大事だが、親も育つ「子育て」に関する文章も入れればよい。
副会長	子どもたちが主体的に生きることや子どもの権利を入れたいと考えている。子育てにより親が学んで育つことや、みんなで子育てをしようとする意識の向上を目標に設けられたらよい。
委員	基本目標1は案1でよいと思う。親育ちについては、基本目標1にすべてを盛り込まなくとも、2や3で解釈として入れることはできるだろう。そのため、基本目標1はそのままで良いのではないか。
委員	基本目標2の案1の「安心」があると嬉しい。基本目標1は、案1も案2も大事なため、「子育て環境やワークライフバランスが充実したまち」「整備されたまち」という形にたらどうか。基本目標3は案1がよいと感じた。
副会長	基本目標は4つにして、「子どもが主体的」ということを別に立てたい。子どもが一番中心に据えられることが一番最初に来てほしい。
事務局	国が放課後子ども総合プランを打ち出しており、その目的では「安全・安心」がうたわれている。
委員	基本目標1と2において、いずれも案1では「子育て」としているが、「子どもが主体的」を出したいのであれば、「すべての子どもたちが安心して教育・保育を受けられる」とした方が、そこにある文章も整理できるのではないか。
委員	その意見に賛成である。
副会長	そうすると、子どもがあり、親が2つあるため、最後に地域があれば4つがつながってくる。 また、子育て環境とワークライフバランスは重要であるが、ワークライフバランスを表に持ってくると、国が行わなければ進まない部分を地域で行うことになってしまうため、地域でできる部分をみんなで考えるとした方がよいのではないか。
委員	主体的に育つ子どもたちが一番に来るのはどうかと考える。この支援会議は、子どもたちをよりよい環境に置くために大人たちがやっつけていかなければならず、今回の骨子案にある順番で書いた方がよいのではないか。
事務局	子育て支援法においては、子どもを支援していくための計画がうたわれている。子どもを前面に出すとすれば子ども憲章や子ども条例になるが、法律の趣旨に沿って議論いただければと思う。
副会長	子ども・子ども子育て支援は、親のためだけではなく子どものためでもある。親の支援を行うためには、子どもと親の関係をうたっていないといけない。子どもを中心とした子育てが叫ばれている中、子どもを育てるために親の働き方を考え、両方のバランスが取れることをうたっていきたいと考える。
委員	子どもを中心とすることは、子ども憲章などでうたうべきではないか。子どもの幸せや笑顔がたくさんあるということでは、働いている保護者の支援を保育園や地域などがバックアップしてほしい。需要やニーズを前向きに捉えて進めてほしい。
副会長	働くことと子育ての両立を考えていきたい。子育てをしている人が平等に判断されるということをお願いしたいと思っている。 また、関連事業をそれぞれに記載する必要はあるか。どの目標にも入る事業が多いため、一つひとつに当てはめていくことがよいかどうか。

会長	事業は基本目標を実現するために実施するもので、そのために再掲の形で複数の目標に掲げられる事業もあり、その方が分かりやすいのではないかな。
副会長	複数に掲載されるのであればよい。
委員	基本目標1は案2とし、その下の文章で、「仕事も家庭も大切にし、子どもたちが安心して教育・保育を受けられるよう」とするのはいかがかな。また、「子どもたちが笑顔でいられるよう」という文章も入れたらどうか。
委員	それぞれの目標の根底にあるのは、子どもの幸せだと思う。子どもの笑顔を守るために家庭を守り、地域で支え合うという考え方がよい。子どもの幸福のため、子どもの笑顔のためということを基本理念でうたってもよいのではないかな。笑顔には、幸せや健康、充実した生活などの全てが含まれるのではないかな。
会長	主体的に子どもが育つということは、基本目標3で言及もされているため、基本目標は3本の柱として、本日の意見を踏まえ、次回の会議で調整して中間報告としたい。
委員	基本理念として、「たくさんの笑顔あふれる子育てのまち」「心豊かに子どもたちと幸せを育むまち」の2つを考えた。子どもだけではなく、親や地域などみんなの笑顔がないと子育てを盛り上げていけないため、市民のたくさんの笑顔の中で子育てができればよい。また、保護者など上の世代の心にゆとりがないと子育てに向かえないため、「心豊かに」の案を考えた。
委員	基本理念として、すべての子どもたちが笑顔で成長していくために、子育てを支える大きな力にしていく意味で、「やさしく支える大きな(みんなの)力、笑顔あふれる子育てのまち」という案を考えた。
委員	「誰もが安心して子育てしやすいまち東大和」という案を考えてきた。
	(休憩 10 分)
委員	これまで出された案を考えた上で、「あふれる笑顔で幸せを育むまち 東大和」とするのはどうか。心豊かやみんなといったことは「あふれる」でカバーでき、「育む」で子育てなどを入れられるのではないかな。 また、基本目標1は案2、2は案1、3は案1でどうかと考えている。 さらに、基本目標1の2つ目の文章を、「仕事も家庭も大切にし、子どもたちの笑顔と幸せを守るため、待機児童の～」とし、語尾の「教育・保育」を削除して「環境整備に努めます」としてはどうか。
副会長	基本目標1は案2、2は案1、3は案1でよいと思う。また、基本目標1の3つ目の文章を、「～それぞれが尊重して子育ての楽しさを共有し、男女がともに～」としてはどうか。
事務局	基本目標1を案2、2を案1とすると、意味合いが重複し、整理が必要になる。
委員	すべて案1でよいのではないかな。
委員	基本目標1は案1で、仕事も家庭も大切にするを目標とし、そのための手段として、誰もが安心して受けられる教育・保育の整備を下の文章に入れたらどうか。
会長	基本目標は3本柱として案1をベースでまとめ、文章を加筆修正して調整することとする。その他、意見があれば、9月3日までに事務局へ連絡をしてほしい。 第3章と第4章についてはよろしいかな。 (「はい」との声あり)

事務局	<p>2. 報告事項</p> <p>骨子案は、次回の会議を経て中間報告とし、それを市議会で説明した後で、10月に3回、市民説明会を実施する。その説明会では、新制度と計画案について説明する。</p> <p>(市民説明会の日時と場所を説明)</p> <p>市民説明会と中間報告については、市報の10月1日号に紙面1ページほど使用して周知を行う。その紙面にはパブリックコメントについても周知し、中間報告はホームページでも掲載する。</p> <p>市議会には9月26日に説明を予定している。また、9月議会では3つの条例案を提案しており、制定を予定している。</p>
会長	<p>3. その他</p> <p>今回は、9月17日の15時から行うこととする。</p> <p>以上で会議を終了とする。</p>